

校内の樹木調査

1年2組 金澤 礼佳 1年2組 清水 理音 1年3組 岡崎 世奈
1年3組 土居 琴葉 1年3組 松浦 優夏
指導者 清川 彩

1 課題設定の理由

現在、森林の伐採や地球温暖化、生物の多様性の減少など多くの環境問題が課題となっている。生態系を支える生産者である植物の中でも、特に樹木が果たす役割は大きい。街中に位置する宇和島東高校でも、他の生物の住処として、騒音対策として、樹木が大きな役割を担っている。校内の樹木が調べられたのは、約20年前^[1]である。そこで、現在、宇和島東高校に存在している樹木について詳細を明らかにして樹木の検索方法を開発することで、本校の貴重な樹木を後世に伝えるとともに、生徒の興味・関心を高めることができると考え、この課題を設定した。

2 実験・研究の方法

(1) 校内の樹木調査および地図作成

約20年前の結果^[1]と比較しながら、校内に生育する樹木を調査する。結果を校内地図にまとめる。

(2) インターネットを用いた検索マップ作成

樹木の特徴が伝わるように写真を撮影し、Google マイマップ（地図を用いてポイント指定できるアプリ）を使用して、調査内容をまとめる。学校のホームページにマップのリンクを貼り、自由に閲覧できるようにする。

3 結果・考察

(1) 校内の樹木調査および地図作成

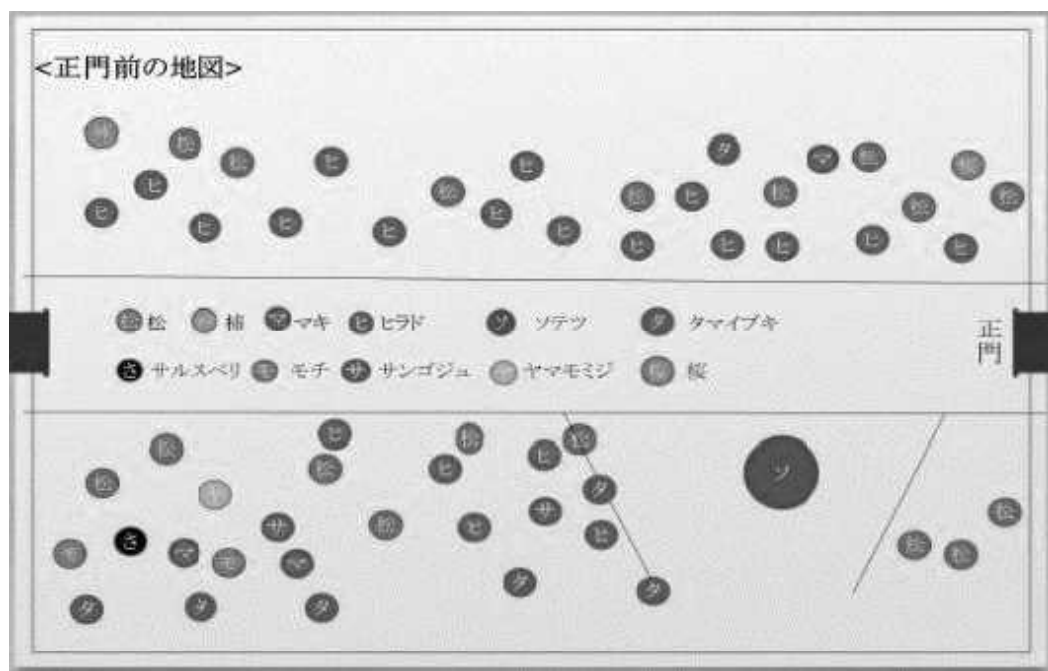


図1 宇和島東高校の正門前の樹木配列

正門周辺の樹木を調査し、地図を作製した(図1)。ヒラド20本、マツ17本、タマイブキ7本、マキ3本、モチ2本、サンゴジュ2本、サルスベリ1本、ヤマモミジ1本、ソテツ1本、カキ1本、サクラ1本、であった。マツ、ヒラドが多く植樹されている。植えられている植物のほとんどが水はけと水持ちの良い乾燥した土壌を好むことが分かった。正門付近には、手入れが容易な植物が植えられていると考えられる。

(2) インターネットを用いた検索マップ作成



図2 検索マップ

左：樹木を示すポイント 右：樹木紹介例（クスノキ）

校内の樹木情報を、インターネットを用いてマップにまとめた。校内の樹木の場所にポイントを打ち、写真を添付した。それぞれの樹木の紹介として、種類、由来、豆知識、本校独自の情報などを掲載した。

4 まとめと今後の課題

今回の研究では、正門前の樹木しか調査できておらず20年前との比較ができていない。今後は校内の他の場所や東高近辺の植物を調査し、20年前との比較を行いたい。また、校内の樹木を調査する中で、ネームプレートが付けられていたが、破損してなくなっていることに気づいた(図3)。生徒の興味・関心を惹くことにもつながるため、すぐにでもネームプレートを作成したい。また、樹木の調査数が十分でないため、学校のホームページで発信するに至っていない。学校のホームページにマップのリンクを貼り、自由に閲覧できるようにすることを目標に、研究を続けていきたい。



図3 破損したネームプレート

参考文献

- [1] 橋越清一(2000)「宇和島東高等学校の植物とエコアップ・プラン」宇和島東高校研究紀要,第26号,28-46
- [2] 岩瀬徹,川名興(1991)「野外観察ハンドブック 校庭の樹木」全国農村教育協会
- [3] 石戸忠(1980)「実践的樹木検索小図鑑」BLUE BACKS,講談社